

千葉県総合計画 ～千葉の未来をともに創る～（概要）

第1編 計画策定の基本的な考え方

- 策定の趣旨 …頻発化・激甚化する災害や人口減少社会の到来等、喫緊の課題に対応し、県民の命とくらしを守るとともに、「空」「海」などの魅力を磨き上げ、誰もが社会に参加・活躍し、豊かなライフスタイルを実現できる県づくりを加速していくため、新たな総合計画を策定する
- 計画の性格 …県政の基本的な方向を総合的・体系的にまとめた、県政全般に関する最上位の基本的かつ総合的な計画
- 計画の期間 …基本構想編：計画策定時を起点におおむね10年後を見据えた課題意識と千葉県が目指す姿を示す
- 実施計画編：基本構想編を踏まえ、令和7～10年度までの4年間で重点的に実施する施策・取組等を示す

第2編 基本構想編

第1章 千葉の新たな飛躍に向けた6つのチャレンジ

- 本県を取り巻く状況や課題が変化中、直面するピンチをチャンスに転換し、県民の命とくらしを守るとともに、本県の更なる飛躍に向け、「空」「海」「里」そして「まち」「ひと」などの力を結集し、チャンスをより大きな成果に結びつけていくとの考えの下、県として取り組むべき課題を「6つのチャレンジ」として整理した。
- （1）頻発化・激甚化する大規模災害等に備えた危機管理体制の強化と新たな犯罪形態への対応
- これまでの災害の経験を生かし、「防災対策には終わりが無い」との認識の下、市町村や事業者等との連携強化、流域治水対策、災害に強い道路の整備、孤立集落対策等により災害に強い千葉県づくりを進めるとともに、新興感染症の拡大に備えた対応力の強化、匿名・流動型犯罪グループなど新たな犯罪形態への対応など防犯対策の推進、未だ後を絶たない飲酒運転の根絶等に取り組むことが必要。
- （2）本格的な人口減少社会への対応
- 急激な人口減少を緩やかにするとともに、将来にわたり県の活力を維持・向上させるため、県民一人ひとりの選択を尊重しつつ、結婚・妊娠・出産、子育て等の希望をかなえる環境づくりや、移住・二地域居住の促進、地域公共交通の維持・確保等が必要。また、持続可能な地域経済の確立に向け、京葉臨海コンビナートの国際競争力強化や、中小企業の支援・スタートアップの育成、農林水産業をはじめ様々な分野での人材確保対策等が必要。
- （3）成田空港の拡張事業等に伴う波及効果の最大化
- 「第二の開港」とも言うべき成田空港の拡張事業や、圏央道の県内区間全線開通等により本県の拠点性がさらに高まることを踏まえ、新たな産業用地の確保や企業誘致、国際的な産業拠点の形成を図るとともに、更なる増加が見込まれる観光客の広域周遊の促進や道路ネットワークの充実強化等を進め、国内外からの「人・モノ・財」の流れを創出し、県全体に効果を波及させることが必要。
- （4）超高齢化時代における医療・福祉・介護ニーズの高まりへの対応
- 高齢化が進行中、生涯現役社会の実現に向け健康寿命の延伸を図るとともに、増加する医療等のニーズに対応するため、医療・福祉・介護サービスの提供体制の整備、人材の確保・育成と生産性の向上等が必要。また、複雑化・多様化する問題を一人で抱えざるを得ず、支援を必要とする人が増えているため、一人ひとりの事情に応じた伴走型福祉の充実が必要。
- （5）多様性を活力とし、誰もが活躍できる社会づくり
- 社会環境の変化に的確に対応するためには、多様性がもたらす活力や創造性が重要であるため、県政のあらゆる分野で多様性尊重の考え方を踏まえた施策を推進するとともに、全ての県民が、その人らしく活躍することのできる環境づくりを進めることが必要。また、今後も増加が見込まれる外国人の活躍を促進するとともに、多文化共生社会の実現に向けた取組を充実させていくことが必要。
- （6）独自の自然・文化を生かした魅力の発信と千葉に向かう人の流れの創出
- 本県が有する空・海・里など様々な魅力を磨き上げ、戦略的に発信することにより、本県に向かう人の流れの創出や、県民の誇り・愛着の醸成につなげていくことが必要。また、県民の活力向上や地域の活性化に向け、本県の特徴・歴史を生かした文化・スポーツの振興に取り組むとともに、持続可能な環境づくりに向け、カーボンニュートラルの実現や豊かな自然環境の保全・継承等に取り組むことが必要。

第2章 千葉県が目指す姿

基本理念

～千葉の未来をともに創る～「県民を守り、支え、そして飛躍する千葉の実現」

基本目標

I 危機管理	II 産業・社会資本	III 医療・福祉	IV こども・若者	V 共生	VI 自然・文化
危機管理体制の構築と安全の確保	千葉経済圏の確立と社会資本の整備	超高齢化時代に対応した医療・福祉の充実	こども・若者の可能性を広げる千葉の確立	誰もがその人らしく生きる・分かり合える共生社会の実現	独自の自然・文化を生かした魅力ある千葉の創造
県づくりの方向性…地域の特性・地理的条件等を踏まえた6ゾーン（東葛・湾岸・印旛、香取・東総、九十九里、南房総・外房、内房）を設定し、各地域の活性化に向けた取組の方向性を示す					

第3編 実施計画編

第1章 重点的な施策・取組

- 基本目標Ⅰ 危機管理体制の構築と安全の確保
- 1 危機管理体制の構築と「防災県・千葉」の確立
- 2 くらしの安全・安心の確保
- ・主な取組に、「半島性を踏まえた防災対策」「防災DXの推進」「平時と災害時を一体として捉えた防災対策の推進」「地域防犯力の向上」「飲酒運転の根絶」を新設
- 基本目標Ⅱ 千葉経済圏の確立と社会資本の整備
- 1 経済の活性化と更なる飛躍
- 2 稼げる農林水産業の推進
- 3 社会資本の充実とまちづくり
- ・施策項目に、「新たな産業・地域づくりと企業誘致の推進」を新設
- ・主な取組に、「空港の拡張事業等に伴う波及効果による県経済の活性化」「中小企業等のDXの推進」「農林水産業の多様な担い手の確保」「持続可能な畜産業の実現」「地域公共交通のり・デザインの推進」等を新設
- 基本目標Ⅲ 超高齢化時代に対応した医療・福祉の充実
- 1 医療提供体制の充実と健康寿命の延伸
- 2 高齢者福祉と障害者福祉の充実
- ・主な取組に、「医療分野のデジタル化の推進」「県立保健医療大学の機能強化」「介護現場の生産性向上の推進」等を新設
- 基本目標Ⅳ こども・若者の可能性を広げる千葉の確立
- 1 こども・若者施策の充実
- 2 教育施策の充実
- ・主な取組に、「こども・若者の権利尊重と社会参画の促進」「若者の出会いや仲間づくりの支援」「ライフデザインの構築と結婚の希望をかなえるための支援」「教育DXの推進」を新設
- 基本目標Ⅴ 誰もがその人らしく生きる・分かり合える共生社会の実現
- 1 多様性が尊重され、誰もが活躍できる社会の実現
- 2 連携・協働による社会づくり
- ・主な取組に、「ダイバーシティの普及・啓発」「性的マイノリティの生きづらさの解消」「外国人の活躍支援」「自立支援体制の整備」を新設
- 基本目標Ⅵ 独自の自然・文化を生かした魅力ある千葉の創造
- 1 脱炭素化と循環経済の推進
- 2 環境の保全と豊かな自然との共生
- 3 千葉の魅力の向上と活用
- 4 千葉の特徴・歴史を生かした文化・スポーツ振興
- ・主な取組に、「脱炭素型ライフスタイルへの転換」「多様な発酵文化・産業を通じた本県の魅力発信」「スポーツによる地域づくりの推進」を新設

第2章 行政経営の基本的視点

- 多様化・複雑化する課題に、迅速かつ的確に対応するため、県行政を「経営する」という観点から、本計画を効果的・効率的に推進するための基本的な視点を掲げた。
- ・市町村との連携強化 …県政運営の土台となる徹底した現場主義
- ・県民や民間等との協働・共創 …開かれたコミュニケーションによるオール千葉県の力の結集
- ・DXの推進 …県民サービスの向上や効率的な行政の実現、様々な課題の解決に向けたデジタル技術の活用
- ・時代の変化に対応した行政組織への変革 …機能的で弾力性のある組織運用、行財政改革、地方分権の推進
- ・SDGsの推進 …総合計画に掲げる施策・取組の着実な推進によるSDGsの推進

第3章 実施計画の政策評価

- ・社会目標として、「成田空港の輸出入総額」、「農業経営体当たり生産農業所得」、「65歳の平均自立期間」、「放課後児童クラブの待機児童数」等を新設
- EBPMの手法を踏まえた分析・検証とPDCAサイクルに基づく施策の改善・着実な実行を図ることとし、4年間で実現を目指す89項目の社会目標（具体的な数値目標）を設定